



平井西小だより

令和6年6月3日

江戸川区立平井西小学校

校長 藤澤 優子

6月号 No.3

「安心・安全」な学校づくり

「かかわり」「共育・協働」～心と心の絆を深めながら～

校長 藤澤 優子

天候にも恵まれ、運動会を開催することができました。保護者・地域の皆様に見守られながら、子供たちも力いっぱい表現したり走ったりすることができました。子供たちの競技や演技に温かいご声援と励ましのお言葉をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。また、当日準備のため、保護者・地域の方による運動会サポートの活動にも感謝です。教職員と共にいつも「子供たちのために」と考え、心を配り、共に活動していただけることが学校を支える大きな力となっています。それぞれの子供がゴールイメージを定めて、目標に向かって頑張る機会となるのが運動会などの学校行事です。行事を通して、子供たちは大きく成長をします。その成長の後押しとなるのが、周りの大人や仲間が認めてくれることです。子供たちは、期待してくれる人がいれば、その人のために頑張ることができます。大切な人からの期待や励まし、さらには褒めて認めてもらうことが大きな励みとなり、成長につながっていきます。子供たちの頑張りを、今後も心から応援していきたいと思えます。



さて、1学期の折り返し6月となりました。東京都では、6月・11月・2月を「ふれあい（いじめ防止強化）月間」としています。子供たちが元気に登校し、一日の学習を終え、無事に帰宅する。当たり前のことですが、「安心で安全な」学校生活を送れることが、保護者や地域の皆様から信頼される学校づくりの第一歩です。私達教職員は、子供たちの安心・安全を常に、そして最優先に考え、共通理解を図りながら、日々の教育に励んでいます。6月の「ふれあい（いじめ防止強化）月間」は各学校におけるいじめや不登校等の問題への取り組み状況を総点検するとともに、問題行動などの未然防止や解決に向けた具体的な取り組みを推進することを目的としています。Q-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）も実施します。このアンケートをすることで、学級生活の満足度や学校生活への意欲、学級集団の雰囲気などを把握することができます。友人関係や学習意欲、教師との関係などを明らかにし、今後の指導に活かしていきます。道徳では、「他者を思いやる心」を中心に授業を行っていきます。この他の学級活動等でも自分たちの「よさ」、学級、学年の「よさ」とは何なのか、「よさ」についても目を向けていきます。

「よさ」をさらに伸ばしながら「安心・安全」な学校づくりに努めてまいります。